

泉大津市教育振興基本計画【後半期】（案）に対するパブリックコメントの結果について

- ◇募集期間：令和2年11月16日（月）～12月13日（日）
- ◇募集方法：郵送、ファックス、電子メール、教育政策課へ持参（また、市内公共施設等に意見書募集箱を設置）
- ◇提出人数：2人
- ◇意見件数：5件
- ◇意見概要及び市の考え方

NO	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>【学校教育について】</p> <p>タブレットの配布が進むようですが、そのメリット・デメリットはいろいろあると思います。私たちもそうですが、手書きが減り漢字を読むことはできても書くことができない漢字が多くなっています。タブレットの活用で子どもの理解度が進む反面、手書きが減ることによるデメリットについても対応をお願いします。</p>	<p>タブレット端末を活用した学習は、デジタルのメリットを学習活動に効果的に取り入れ、既存の学習活動ではできなかったことを実現していくことがあります。</p> <p>また、すべての学習活動をタブレットで行うわけではなく、教科や学習内容に応じて、『書く』学習活動を適切に加え、ご不安のデメリットに対応した授業づくりに取り組んでまいります。</p>
2	<p>資料のP9に「(3) 支援教育の充実」と有りますが、実際どのように取り組まれるのでしょうか。子どもが若葉学級にも在籍しており、今後の進路などについても不安や悩みがありますが、学校とどのように相談すればいいのかわかりません。相談しやすい仕組みづくりと、担当される教職員の方もご苦労が多いと思いますので、教職員の増員もお願いします。</p>	<p>市内の小・中学校においては、障がいの有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育構築のため、教員研修を重ね、全ての子ども達にとってわかりやすい授業づくりや環境整備に取り組んでおります。支援学級に在籍する児童生徒の進路等の相談については担任や特別支援コーディネーターが対応させていただいていますが、不安を抱えた保護者や児童生徒が安心して相談できる体制づくりを検討してまいります。</p>
3	<p>【学校教育と生涯学習の充実について】</p> <p>学校教育の充実には生涯学習の充実が必須であると思う。その点が計画に盛り込まれていて良いと思う。</p>	<p>後半期の重点事業に記載のとおり学校図書館と新図書館の連携により、子ども達の読書環境の向上に努めることや、泉大津市にある史跡や</p>

		遺跡について子ども達が学習する機会を設け、郷土愛や市民としてのアイデンティティを醸成していくなど、学校教育と生涯学習の連携を図りながら両方の充実に努めてまいります。
4	<p>【生涯学習について】</p> <p>生涯学習関連施設の利用率を向上させる必要があるので、リニューアル等により利用率を高められるのではないか。</p>	<p>市では、生涯学習関連施設も含め全ての公共施設のあり方を「泉大津市公共施設適正配置基本計画」で定めています。今後、生涯学習関連施設が市民の皆様にさらに使っていただけるように、検討していきたいと考えております。</p>
5	<p>【学校の地域連携充実について】</p> <p>地域との連携が充実すれば、さらに学びの充実が進むと思う。</p>	<p>市内の小中学校では、社会に開かれた教育課程を実現するため、地域住民が学校運営に参加できる仕組みであるコミュニティ・スクールを推進しております。今後、コミュニティ・スクールを充実させ、子ども達の『学びの充実』を図ってまいりたいと考えております。</p>